

相談ネットワーク通信

2013. 10. 10(木)

子育て・教育なんでも相談ネットワーク 岡山市北区表町1-4-64 上之町ビル3F

No. 80

TEL・FAX 086-226-0110 Eメール: soudan-net@vivid.ocn.ne.jp

ベトナムに保育園を！

ご賛同・ご協力をお願いします

中 元 輝 夫

「海の墓標」を出版したときには、相談ネットワーク通信に「執念でつきとめた父の戦死の場所」として載せていただき感激しました。

その本が、なんと第十五回日本自費出版文化賞(個人誌部門)百九十四点の中から文化賞を受賞することになりました。そのとき副賞として賞金もいただきました。

この「海の墓標」は私個人のものではなく、皆の力で完成に至ったものだと考えています。

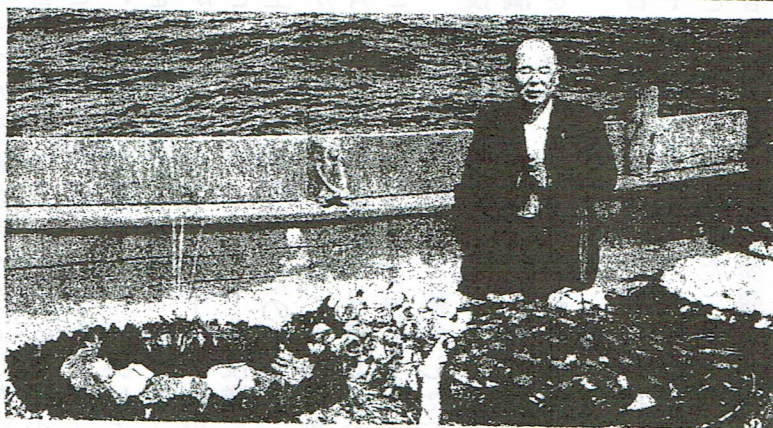
ベトナムでは、父が戦死した辺りの戦地クアンガイの海上まで案内してもらったりすてきな花輪を用意してもらったりするなど心のこもったもてなしをしていただきました。その温かさになんとか恩返しをしなければ

と思っていました。そこで、現地の人にお尋ねしたところ、「保育園がないので、できるなら保育園を」との要請がありました。なんとか恩返しとして保育園を贈ろうと決意しました。

「ベトナムの子どもたちに保育園を！」と呼びかけ人をお願いしたところ、四十数人の方に賛同協力に名を寄せていただきました。そして、二百五十万円の目標に対し、現在百七十万円余り集まっています。

この保育園建設が日本とベトナムの友好の懸け橋になればと願っています。温かい気持ちをお寄せいただければ幸いです。よろしくお願

なかもと てるお



父の乗っていた陸軍輸送船が沈められたベトナム沖で眺める中元さん。2010年2月

来春完成目指し 友好の懸け橋に 募金呼び掛け

2013年8月11日付「山陽新聞」



オーストラリア訪問の報告⑥

オーストラリアの学校で 授業をしながら考えたこと

岡山理科大学科学ボランティアセンター

武田 芳紀

訪問ツアーのそもそもの目的である現地の学校での授業の様子を紹介しました。その中で私は子ども達の感想文に出てくるある言葉 (interactive) をどう訳したらよいか悩みながら、その言葉こそキーワードであると紹介しました。

実は、それに関連して、次のような指摘があるのを見つけてました。これは、私の行っている仮説実験授業についてある若い研究者が書いたものです。

・ある外国の学習科学者によれば、多様な子どもたちが生き生きと学び合えるような授業の3つの条件として、子ども達が「活動的 (active)、相互作用的 (interactive)、構成的 (constructive)」、構成的 (constructive) の3つが大事なんだそうです。「活動的」は、自分自身の体を動かして、観察したり実験したり、ジェスチャーしたりを大事にすること。

「相互作用的」は、先生が一方通行で子どもに講義するのではなくて、子どももおし、子どもと先生のやりとりを大事にすること。そして「構成的」とは、断片的な知識をわーっと覚えさせるのではなくて、色々な情報を結びつけながら、自分自身で「これって結局こういうことだよな?」という納得を作っていく活動を大事にすることです。確かにこの3つの条件が満たされていけば、子ども達は生き生きと楽しく学ぶことができます。藤萌木(裕子)著『今日もどこかで』(ガリ本図書館)。

これは仮説実験授業の授業書はこの3つの条件を満たしている、として紹介されている文章なのですが、私が子ども達の感想で注目した「interactive」という言葉が、欧米の研究者の間でも注目されていることを知り、うれしく思いました。と同時に、子ども達

が仮説実験授業の特徴として、自分たちでこの言葉を使って表現していること、あらためて意を強くした次第です。

さて、この連載も回をかさねてきました。そろそろこの連載も終わりにしたいと思います。前回の通信の発行のあと、今年もツアーに行ってきました。実はこれでもう、4回目のツアーになります。今年も、別の都市(パース)でも授業を行うことができましたが、アデレードでは、どの学校でも先生達とより親しくなることができました。

前回の通信で紹介した仮説実験授業(「もしも原子が見えたなら」)の授業を行ったクラスの担任の先生と再会したとき、一緒に行ったKさんが、最初の挨拶で「昨年、アースのことで盛り上がりました」と声をかけたら、一瞬緊張したかに見えたその先生も破顔一笑され、なごやかな雰囲気になりました。

それは、私がそのクラスで授業を行った時、へ原子が（小さすぎて）目には見えないのは、へ地球は（大きすぎてその全体を）見えないうと同じだという説明のところで、私が「地球（earth）」、すなわち「アース」と発音するたびに、子ども達の間からクスクスという笑い声が起ったのです。

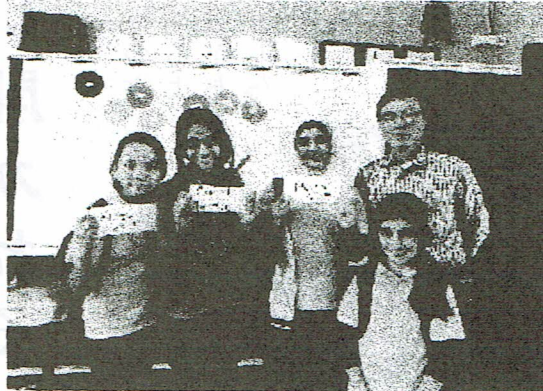
最初は、どうしてかわからなかったのですが、その先生が耳打ちしてくれたのは、私のその発音がass（ケツ、尻）と聞こえるからだ、ということでした。私たち日本人は、「アース」と発音するとき、へエの音を発音しません、そうすると、このassの発音に、子ども達には聞こえたらしいのです。最初は理由が分からず、とまどった私もそれを聞いて、以後は「アールス」とへエを意識した発音にあらためたら、子ども達の笑い声も消えていきました。Kさんはそれを思い

出していたのですね。これは、ちよつとしたエピソード（私にとつては赤面のー！）ですが、回数を重ねると、個人同士の間でのそんなうちとけてきます。子ども達もまた、私たちが行った仮説実験授業のことをとてもよく覚えていてくれます。

この連載の最初に紹介した先生達のフライデーパーティ（金曜の午後の職場でのミニパーティ）は、今年あるモデブリー高校（Modbury high school）で参加させてもらいました。

そこでは、先生達がこのパーティでいつも行うゲーム、みんな1ドルずつ出し合つて、くじをひき、ある番号をひいた人はそのかけ金のうち、10ドルをもらえ、残りはそのでの飲食代にあてるというゲーム（かけ？）、に私たちも参加し、なごやかな雰囲気の中で談笑しました。そして、最後には、私たちが授業で行う

ために用意していた「パンジーチャイム」というへ金属製の管をそれぞれある長さに切つて、それを床に落として曲を演奏する授業をそこにいた全員でやったところ、陽気なオーストラリアの先生達はとにかく、乗りの乗つて、楽しんでくれました。



今年初めて訪問したヒルクレスト小（パース）にて、子ども達と。アジア系の子どもも多い。

「See you next year!」と声をかけあいながら、学校を後にしたので、授業を通じての交流の手応えを確かに感じる事ができた、そんな達成感に包まれた瞬間でした。

長い間のご愛読、ありがとうございました。もともとと授業をすることを目的に企画されたツアーで、垣間見たオーストラリアの学校の様子、いかがだったでしょうか。まだ書ききれなかったことも多いのですが、最初にも書いたように、日本の学校の中にあるとそれが唯一のあり方のような気がしますが、それをあらためて考え直すきっかけになれば、うれしいです。

（たけだ よしのり）

お喜びです
武田芳紀先生には長い間ありがとうございました。ネットワーク通信では「たけだよしき」としていましたが、正しくは「たけだよしのり」です。お詫びして訂正いたします。



八月十八日岡山市中央公民館において、2013年度総会と子どもの教育を語るつどいが開かれました。オープニングでは、佐藤匡さんによるギターの弾き語りがありました。「あきらめないで」「生きてくれ」

2013年度

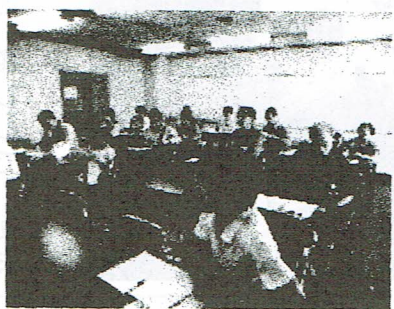
総会 & 子どもの教育を

語る集い開かれる

など、オリジナルの四曲を力強く歌ってくれました。毎年来ていただいています。今年も結婚をして、歌声にも歌詞にも希望があふれ参加者を感じさせてくれました。「来年もぜひ来ます」と明るく言う佐藤さんに、参加者から大きな拍手が起こりました。

総会では、難波一夫代表による「相談ネットワークのこれまでとこれから」が報告されました。新しいメンバーを加えて、学習会への講師派遣など積極的に進めていく方向も出されました。また、相談時間が短いというご意見もあり、留守番電話を有効活用し相談者

の方に時間を合わせていけるような方法を考える必要があることが話し合われました。



アニメ映画「ハッピーバースデー」は、親の虐待から声を失った少女が立ち直っていく姿をとおして、いろいろな問題を投げかけていました。視聴後は、参加者の感想や現在の教育の課題を交流しました。

参加者の声

ちよっと出来すぎた内容だと思ったが、前向きに生きて行く勇気を生み出してくれるものが家族愛だということが伝わり感動した。

虐待やいじめをする側の成育歴や心の闇なども描かれていて、問題の深さと同時にそれを解決する道筋も明らかになる作品だった。

いじめ・虐待・障害問題など、盛りだくさんのテーマがかくされていて、考えさせられた。人は変わっていきるんだと思った。



生協組合員さんとの

子育て講座再開

今回の内容は、生協が5年前に開催した「平和まつり」の中で行われた憲法の話と子育て教育の話の柱にして講座を開いたらどうかということ、生協の運営委員の方と打ち合わせ会をしました。

今、安倍政権は憲法を改悪しようとして、さまざまな画策をしています。しかし、日本国憲法について、佐貫浩さん（法政大学教授）は以下のように述べています。

「日本国憲法は、二つの意味において、平和的生存権を保障している。

第一には、日本は「戦力」を持たず、国家間問題を処理する戦争を「放棄」し、国民を戦争の犠牲にすることを絶対に許さないという点である。この点は、第9条にその論理が明記されている。

第二は、すべての国民が平和のもとで生活し、平和的な力によってこの社会の主体となり、人間としての尊厳を

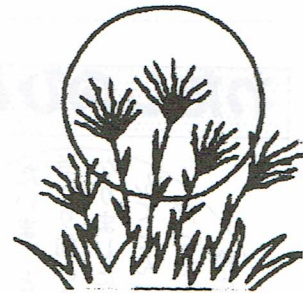
維持し、生存権を実現し、この社会に力ある人間として参加することを権利として保障している。」

この憲法の精神が今の世の中に貫かれているのでしょうか。

格差や貧困が広がり、子どもや若者も競争を強いられ、支配し支配されるという関係性の世界で苦しんでいます。どうすればいいのでしょうか。一人で悩むのではなく、みんなで話し合う中で、進むべき道が見つかるように思います。

ちなみに第一回は難波一夫先生の戦争中の体験談が予定されています。生協の話ほど説得力のあるものはないでしょう。ぜひご参加ください。

詳しい日程が決まりましたら、「ネットワーク通信」でお知らせします。

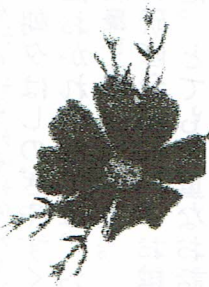


みなさんこんにちは

ぼくは、相談ネットワークをいつも利用している者です。では、何のために来ているのかというと、実は今特に相談したいとか困っているとかいう理由ではありません。木曜日になると、相談ネットワークに足が向くのです。私の心の在り所です。

ぼくは人と関わるのが苦手というより苦痛を伴うこともあります。ですが、ネットワークでは難波先生や相談員の先生と自然に話ができて、ほっとしています。

岡山市在住 井上幸一郎



難波先生 奮闘記

最近の講演テーマ

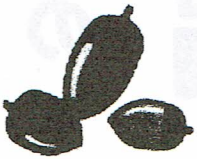
「子どもはこんな親が好き」 「見えていますか？子どもの心が」

「子育て相談ネットワーク」の顔である難波一夫先生が10月2日、84歳の誕生日を迎えました。年齢には関係なく、とてもお元気で相談や講演活動に精力的に取り組んでいます。

今年度も岡山市の幼稚園・小学校・中学校、倉敷の小学校、信用金庫などから講演の依頼が相次いでいます。

難波先生の魅力は、高校教師としての実践や長い相談活動の経験はもちろん、半端でない読書量で現代の課題に対応できる知識を絶えず取り入れておられることです。子どもの目線に立った難波先生の講演は父母のみならず先生方にも好評です。

先日講演に行った横井幼稚園のPTA会長様からご丁寧なお礼状が届きました。ご紹介します。



わたしのひとこと

拝啓 コスモスが風に揺れ、朝夕はしのぎやすくなつて参りました。難波先生におかれましては、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。先日は横井幼稚園の人権教育研修会の講演にお越し頂きありがとうございます。とても貴重なお話をたくさん聞かせて頂けたことで子どものことを改めて考える良い機会になりました。保護者の方からも勉強になつてよかつた等、嬉しい声をたくさん聞きました。なかなか講演を聞く機会が少ない方がほとんどだと思えますので、今回難波先生のお話が聞けて本当に良かったです。今後、また機会がありましたらぜひ人生の先輩として、いろいろ教えていただければと思っております。季節の変わり目ですので難波先生もお体に気を付けてくださいね。ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

岩倉 美智

いつも通信ありがとうございます。と元気に出かけた家族が夕方「ただいま」と元気よく帰って来るのが当たり前前の幸せが望めない世の中になりましたね。憲法9条をかえるなんてとんでもない。私の生きてきた八十七年は何だったのかと思うこのごろです。

諸先生方のご健康を祈ります。

大津市 T・T



青春断想⑧

青空教室の思い出と
百八十度変わったようにみえた先生方

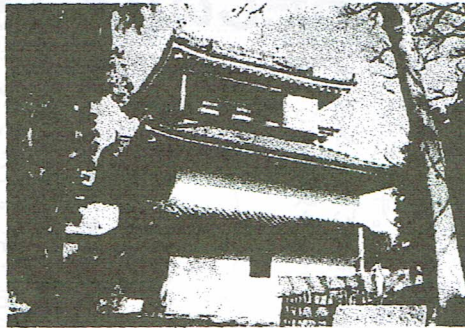
難波一夫

岡山大空襲のあと、学校がいつから再開されたのか、よく覚えていません。でも、焼けた天守閣の近くの月見櫓の前の菩提樹のところに行われたのは忘れられません。まさに「青空教室」でした。

教科書も何もなく先生の口述による講義でした。なんの授業か、和辻哲郎の「風土」が取り上げられていました。今まで聞いたことのないような新鮮さを感じました。でも、なかにみについてはいくよく理解できまませんでした。

授業より気になったのは雨が降ったらか、日陰の場所はとか、樹から落ちて

くる虫とか・・・。実際に夕立がきたり虫が落ちてきたりはしょっちゅうでした。その頃は、日本の敗戦が決まったのは。



岡山城跡(月見櫓)

その後まもなく、屋根のあるところで授業をするところになって、そこが焼け残っ

た岡山市の公会堂跡でした。行ってみると、外観は残っているのですが、大屋根が落ちていて、所々にその残骸がありました。屋根が残っていたのは舞台の上で、そこに机が並べてありました。前よりはましだなぁと思いましたが、吹き降りのときには休憩しなければなりません。

その後、伊島小学校の教室を借りることになりました。これでやっと落ち着くことになりました。ここから授業らしい授業ができるようになったのです。

しかし、中学四年生が座るような机や椅子ではありませんでした。先生の講義は、口述から

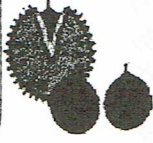
板書に変わっていききました。もちろん謄写版も印刷機もありません。また、ノートも手に入らず、筆写して写しとるのも大変でした。国語の授業で、松尾芭蕉の紀行文を丸写ししました。よく覚えているのは、「死後、黄金北斗をさそうとも、しかじ生前一杯の酒」と写し終えたときに、お酒というのはそんなにおいしいものなのかと思いました。でも、当時新聞などで、「闇市」で買った酒や焼酎で死んだとか、メチルアルコールを飲んで昇天したとか、騒がれていました。生命を失ってでも飲むものなのか。不思議に思ったものです。

物理も化学も生物も、実験室も用具もないのですから、空理空論を聞いているようなものです。

8ページへ続く

だんだん色々な不満が高まってきました。とりわけ、180度変わったようにみえた先生の指導ぶりに納得がいきません。敗戦後の教育方針の定まらぬなかで、おどおどしたような先生。生活苦が顔に滲んでいる先生。少し前まで、尊大とさえみえた先生の、今の姿が許せませんでした。そして、ちやんとした授業をしてほしい。進路はいつたいたいどうなるのかなどとあわせて戦争中の先生がたの教育について、今どう思っているのか。一度話をしようということになりました。(つづく)

なんば かずお



暑さがこたえる夏でしたね。皆様お体は大丈夫ですか？春に卒業した息子は自ら進んで予備校生になりました。また一年頑張ります。

岡山市 O・N

わたしのひとこと

通信有難うございませす。各々先生方ご苦勞様です。難波一夫先生がお元氣にてご奮闘嬉しく存じます。

津山市 Z・Y

いつも相談ネットワーク通信を送っていただきありがとうございます。この国の舵取りの安倍さんは憲法を変えて国防軍とやらにして何がしたいのでしょうか。私たち日本の母親たちは息子や孫を兵士にはさせてはなりません 岡山市 K・Y

いつもいつも「ネットワーク通信」をお送りいただき楽しく読ませていただきました。それなのに失礼ばかりしていたのでほんの少しだけご協力させていただきました。編集後記あじさい いつも見事にまとめられ感心しています。ますますのご活躍を！

矢掛町 E・M

こ

これが日本の総理大臣「軍国主義者と呼びたいなら呼べ」とアメリカで講演した言われたのなら そう呼ぼうではないか

す

なわち この軍国主義者は「積極的平和主義」という名で 日本を戦争のできる国にしようとしている魂胆が見え見えであるこれは みんながどこかで見たことのある「平和を愛する人を求めています」の自衛隊員募集のポスターと同じではないか積極的に平和を守るために 戦争はするものか ウンについてはいけません

も

う60年以上も いやこれからも憲法を守りつつける国 それが日本平和主義をいうなら この世界に誇れる憲法をどう守っていくかをいうべきではないか

す

ぐそこに戦争が起きているいまわたしたちがしなければならぬことそれは「子どもたちを戦争に送らないこと」

